

はじめに

大学教育センター長・FD 委員会委員長

横田 佳之



平成 30 年 11 月 26 日中央教育審議会答申「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、大学教育改革の方向性として、各高等教育機関がそのミッションに基づき、学修者が「何を学び、身につけることができるのか」を明確にし、学修成果を実感できる教育を行い、そのことが確認できるような多様で柔軟な教育体制を保證することが掲げられています。

本学 FD 委員会も、効果的な授業設計やアクティブ・ラーニングの推進など、主体的に考える力を育成する仕組みに取り組んできましたが、今後は個々の授業改善だけでなく、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づく教育の質保証及び学修成果の把握・可視化に向けた組織的な取組が求められている状況です。

2019 年度は、学問分野の特色に応じた教育の質保証及び学修成果の把握・可視化に向けて、2018 年度学長重点施策方針「部局 FD 活動等の推進」を引き継ぎ、FD 委員会の年間テーマを「学修成果の可視化に向けた効果的な部局 FD 活動の推進」と決めました。年度当初に各部局 FD 委員との個別ヒアリングを実施し、各部局の状況と今後の方針を共有した結果、各部局 FD 委員のご尽力により、法学部 2 件、経済経営学部 1 件、理学部 1 件、都市環境学部 1 件、システムデザイン学部 3 件、健康福祉学部 1 件の部局 FD セミナーの開催につなげることができました。また、一昨年度から年 4～5 回実施している「アクティブ・ラーニング手法紹介セミナー」（大学教育センター共催）を、昨年度に引き続き荒川キャンパスでも開催し、学修成果の把握に有効とされるルーブリックの活用について、教員間の情報共有と対話を行うことができました。また、理系部局から要望のあった、理系エリアでの FD セミナー開催も、来年度には実現させる方針です。

全学 FD 活動としては、4 月に新任教員研修（教育力向上 FD セミナー「効果的な授業設計方法を学ぼう！ーシラバスの書き方から評価までー」と連携）及び TA 初任者研修、6 月は「TA 制度の有効活用に向けた教員向けの取組」（e ラーニング教材の視聴及び TA 活用調査アンケート）、そして 7 月には立命館大学教育開発推進機構の沖裕貴教授とリクルート進学総研の小林浩所長をゲスト・スピーカーとする FD・SD セミナー「高大社接続における学びの展開」（総務部総務課共催）、さらに 11 月には TA 情報交換会及び産業技術大学院大学情報アーキテクチャ専攻の小山裕司専攻長をゲスト・スピーカーとする FD セミナー「学修成果の把握と評価、そして可視化に向けて～学生が成長を実感できる評価方法、可視化のあり方とは～」をそれぞれ実施しました。教育の質保証及び学修成果の把握・可視化に向け、時宜を得た取組内容であると自負しております。

2020 年度以降も、東京都立大学 FD 委員会として、全学的な FD セミナー、アクティブ・ラーニング関連セミナー、TA 活用支援及び各種アンケートを企画・実施していくと同時に、部局 FD セミナーをより一層充実させるための支援や、学生の視点を取り入れた FD 活動等、よりきめ細かい活動を展開していく所存です。学生や教員に過度な負担をかけない教育体制のもと、学生自身が目標を意識しつつ主体的に学修し、その成果を適切に評価し、さらに必要な学びに踏み出していく、自律的な学修者となることを願ってやみません。

（ぜひ、FD 委員会 HP もご覧ください：<https://www.comp.tmu.ac.jp/FD/>）

クロスロード第 19 号

目 次

はじめに

I. 巻頭特集 FD セミナー開催報告

- 学外事例発表 4
「産業技術大学院大学での学修成果可視の取組」
産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 専攻長 小山 裕司 氏
- 学内事例発表
 - ① 「汎用的能力の育成と評価を踏まえた授業設計」 7
松田 岳士 (大学教育センター 教授)
 - ② 「汎用的能力の測定・評価の試み
～基礎ゼミナール及び教養科目の実践事例～」 10
近藤 伸彦 (大学教育センター 准教授)
 - ③ 「生物学実験への組織的なルーブリック評価の導入と、
ポートフォリオ化に向けた取り組み」 14
鈴木 準一郎 (理学部生命科学科 教授)

II. セミナー・研修開催報告

- FD・SD セミナー開催報告 19
- 研修開催報告
 - 新任教員 FD 研修・教育力向上 FD セミナー 39
 - TA 初任者研修 41
 - TA 情報交換会 43
 - アクティブ・ラーニング手法紹介セミナー 44

III. アンケート実施報告

- 授業改善アンケート実施報告 47
- 卒業時の学修成果等アンケート実施報告 65

IV. 活動報告

- 部局 FD 活動報告 75
- FD 委員会活動記録 85